

あかうしのあくび

地図付

リニューアル
Vol. 21

阿蘇のおすすめSpot まるわかりBook

通行止 平成30年12月現在
実際の交通規制に従って走行してください。

道の駅阿蘇からの およその距離・所要時間	距離	所要時間
草千里	13km	25分
大観峰	12km	30分
阿蘇神社	5km	10分
熊本IC (ミルクロード経由)	50km	1時間30分
熊本空港 (ミルクロード経由)	35km	1時間
黒川温泉 (やまなみハイウェイ経由)	33km	50分
別府 (やまなみハイウェイ経由)	95km	2時間
高千穂	60km	1時間30分

※道路状況・天候などにより変動します。



至大津町
(熊本市)

中九州クボタ
至熊本市

至西原村
(熊本市)

至大分

荻岳

阿蘇山公園道路料金
小型二輪 200円
軽自動車 600円
普通自動車 800円

※中岳火口見学
【冬季時間】
9:00 ~ 17:00
(16:30 ゲート閉門)
12/1 ~ 3/19

※火口見学は天候や風向き、ガスの状況により規制されることがあります。火口の規制情報は、阿蘇火山防災会議のHPで最新情報をご確認ください。



そば屋特集

蕎麦処 阿蘇の風



おすすめ蕎麦メニュー
もりもりコース
¥1,300 (税込)

①お通し ②ミニ豚角煮 ③もりもりかけ蕎麦 ④ぜんざい or 杏仁豆腐

阿蘇産（阿蘇谷と波野産）そばを阿蘇の水で磨いた手打ちそば。つゆは枕崎産かつお節、天草産あじさば節、函館産昆布、本醸造醤油・みりんなど原材料にもこだわり、化学調味料は一切使用していません。ホッとする優しい味のつゆです。おすすめの「もりもりコース」は、長時間煮込んだ柔らか豚角煮に、そば粉団子が入ったぜんざいまでついています！心身温まり満たされます。

ご主人の作るこだわり抜いた蕎麦に、北京出身の奥様手作り中華とのコラボレーション。「ミシュランガイド熊本・大分2018特別版」に掲載されました。是非ご賞味ください。



〒869-2222
阿蘇市西町 788-2
0967-34-0050
営 11:00 ~ 15:00
休 月・火曜日
(祝祭日は営業)
12/25 ~ 1/2・2月は冬期休暇

産庵

(うぶあん)



おすすめ蕎麦メニュー
鴨セイロ
¥1,500 (税込)

阿蘇産ネギと鴨の温かい出汁は最高！

お漬物の直営店でもある蕎麦処。古民家を移築して作られたオシャレな店内には、数多くの漬物も販売されています。

福岡の有名蕎麦屋で修業を積んだ店長のこだわりは、地元の食材を使用すること。蕎麦打ちや料理には、店舗隣から湧き出す湧水を使用しているほか、そば粉も食材もできる限り阿蘇産にこだわっています。

お食事をされる方は十数種類のお漬物が並ぶバイキングも利用可能。蕎麦職人の店長が作るスイーツセット ¥500 (税込) もおすすめです。



〒869-2611
阿蘇市一の宮町坂梨 1435-1
0967-22-0515
営 蕎麦処 11:00 ~ 16:00 (LO15:30)
漬物処 9:00 ~ 17:00
休 火曜日(祝祭日は営業)
年末年始 12/30、1/1は休日

そば処 岩戸開

(道の駅・波野 神楽苑)



おすすめ蕎麦メニュー
旬野菜の
あんかけそば
¥900 (税込) (季節限定商品)

道の駅波野に位置するそば処岩戸開には様々なメニューがあります。寒い阿蘇の冬に貴方を心身共に温めてくれます。波野産の蕎麦粉を使用し、冬季は秋に収穫された新蕎麦を食べることができます。そば茶も一緒にどうぞ。食事の後は道の駅波野神楽苑で、蕎麦や蕎麦粉を買って帰るのもいいですね！



〒869-2801
阿蘇市波野大字小地野 1602
0967-24-2331
営 蕎麦処 10:30 ~ 16:30(LO)
休 毎月の第二の水曜日
(5月と8月は定休日なし)
年末年始:1/1は休日

坊中亭



おすすめ蕎麦メニュー
地鶏そば
¥700 (税込)

こだわりの熊本県産の肥後地鶏を使っています。ちょっと甘目の醤油ベースのタレで一日煮込んだ地鶏とダシが絶妙です。刻まれたゆずの香りで後味はさっぱり。

創業から70年。郷土料理の味わえるお店として紹介されますが、食通の店主の作る地鶏そばもおすすめ。

数年前に駅構内にお店を移した今も変わらぬ味とご主人の手柄で、長年阿蘇で愛されています。



電車を見ながら

高菜めし定食 ¥1,350
だご汁定食 ¥1,350

〒869-2225
阿蘇市黒川 1440 (JR 阿蘇駅構内)
0967-34-2566
営 10:00 ~ 17:00
休 木曜日
年末年始 12/27は休日

アソーザーストーリー

下村 委也さん ~お米を通して食育活動~

道の駅『阿蘇』で大人気のミルクークイーンを作る『下村 委也さん』

今回の「アソーザーストーリー」では、「下村 委也さん」の活動についてご紹介します。

地域の子どもたちに向けた取り組み

下村委也さんは、地元の保育園の子ども達に「お米のすばらしさを知ってもらいたい。」との思いで、お米の食育活動に熱心に取り組んでおられます。

子ども達が土や水に触れながら、お米ができるまでの過程を学べるように、自分の田んぼの一部を保育園の子ども達のために開放し、田植えや稲刈り体験を行っています。



田植えや稲刈りだけではなく、収穫したお米を給食でふるまいます。お米を自分達で炊き上げて食べることで、普段食べているお米がどうやってでき、自分達が生きていくために欠かせないものだと感じてもらっています。



園児たちも美味しい!と絶賛の下村さんのお米の特徴はこちら。

リピーター続出!くせになる美味しさ

下村さんのミルクークイーンは、道の駅『阿蘇』の中でも大人気の商品で、リピーターのお客が多いのが特徴です。お米1粒1粒がしっかりとしていながら、モチモチとした食感で、十分に甘みが感じられるおススメの品です。

冷めても美味しい ミルクークイーン

低アミロースで粘りが強くピカピカと輝き、冷めても硬くならないので、美味しいご飯がいつでもいただけます。ご飯粒表面の”おねば”層が多く、保湿力があるため、パサパサになりにくく、お弁当やおにぎりなどにも最適です。



下村 委也さん

道の駅『阿蘇』では、「下村 委也さんのお米」をはじめ、阿蘇市の美味しい商品を多数取り揃えております。

皆様のご注文を心よりお待ちしております。

お申込電話: 0967-35-5088

道の駅阿蘇 ネットショップ

https://store.shopping.yahoo.co.jp/mitinoekiaso/



あかづいあくび

たったの3問! 読者アンケートに答えると...

あの世界が認めた
阿部牧場の
ASOMILK
のむヨーグルト
小10本セットが5名様に
当たる!!



あくび アンケート

検索

応募メ切
平成31年
2月28日(木)

※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



読者アンケート
QRコード

発行: 道の駅阿蘇 (NPO法人ASO田園空間博物館)

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川 1440-1

TEL: 0967-35-5088 FAX: 0967-35-5085



とことん満喫
阿蘇サイクリング!

~参加者受付中~

道の駅阿蘇では、サイクリングで阿蘇を楽しみたい方へお得なサービスを提供中です。(参加無料)
無料駐車場の提供や市内協力店舗でのおもてなしサービスで、阿蘇サイクリングをとことん満喫!サイクリスト専用マップもあります。

詳しくは

道の駅阿蘇 とことん

検索

阿蘇 冬の開運神社めぐり ～時を超えて守り継がれる阿蘇の神聖なパワースポット～

日本の歴史書「日本書紀」にもその一部が描かれるように、阿蘇には健甕龍命（たけいわたつのみこと）を主人公とした神話、伝説が現代にも数多く残され、それにまつわる神社が数多く点在しています。霊山として人々に崇められてきた阿蘇山は、僧、修験者の礼拝も昔から盛んに行われてきました。今回は、そんな人々の崇拝する心を惹きつけてやまない、阿蘇の霊験あらたかなパワースポットのご紹介です！

① 阿蘇神社
サテライト 51



（正月催し）
三箇日は甘酒が振る舞われます

社記では孝霊天皇9年（紀元前282年）の創建とされる2300年の歴史を持つ肥後国一の宮。13座の神様が祀られ、その1座には神武天皇の孫神と伝えられる健甕龍命が鎮座します。年間を通して行われる稲作の祭りに、春の卯の祭・田作祭、夏の御田祭、秋の田実祭があり、これら三大祭は国の重要無形民俗文化財に指定されています。熊本地震で大きな被害を受けた社殿ですが、懸命の復旧作業により、かつての宏壮な姿を徐々に取り戻しつつあります。



農耕の繁栄を祈る神様として、人々の篤い信仰を受けてきました。社史2300年という節目を目前に、再建する阿蘇神社の今の姿をぜひご覧になっていただきたいです。

阿蘇市一の宮町宮地 3083-1
（アクセス 道の駅阿蘇から車で10分）
駐車場 あり

阿蘇神社権禰宜
内村泰彰さん

② 赤水蛇石神社
サテライト 19



（正月催し）
三箇日は甘酒が振る舞われます

神話によれば「巨岩の切れ目に1尺ほどの白蛇が居り、そこに不思議な霊験が現れ、人々が『蛇石さん』として崇拝し祀った」ことが信仰の起源とか。現在、伝説の巨石前には蛇社が設けられ、御神体である本物の白蛇を、どなたも無料で拝観することができます。特に、金運や宝くじ当選運にご利益が大きいとのこと。拝殿では祈願によって舞い込んだ幸運に感謝するお礼の手紙が目に入ります。白蛇様の抜け殻が入ったお守りもあり、運氣が高まりそうです。



毎年8月1日には神事も行っています。自然に囲まれた静かな場所にありますので、ゆったりくつろぎながら、心を整えていかれる方も多いですね。

阿蘇市赤水 1815
（アクセス 道の駅阿蘇から車で15分）
駐車場 あり

赤水財産管理組合組長
日田秀喜さん

③ 藤谷神社
サテライト 82



（正月催し）
三箇日は甘酒が振る舞われます

古文書に「養老元年（717年）、阿蘇山に神が降臨し、里人が阿蘇山中の天狗岩に祀った」という記述があり、社殿はその後この地へ移され、祭神大山祇神（オオヤマツミノカミ）を天狗の神様として祀っています。境内は鎮守の森に包まれ、しんと静謐です。どなたでも拝殿の中で拝礼でき、奉納されている天狗の絵やお面も拝観できます。尚武の神として知られ、戦中は出兵の武運を祈り、毎日50人ほどの参拝者が訪れていたとか。境内には安産を祈願する鬼子母神も祀られます。



地域の氏子たちで日々清掃、管理を行っています。新暦の6月1日にお祓い、旧暦の8月4日に地区中心部の公園でお祭りがあり、地域内外の人で賑わいます。

阿蘇市竹原
（アクセス 道の駅阿蘇から車で15分）
駐車場 あり

竹原区長
荒木 喬さん

④ 加玖羅社
サテライト 72



地域を守る氏神、火伏せの神として崇敬され「加玖羅さん」と呼ばれ親しまれています。かつて近隣に多く点在していた“坊”の中の、福性坊の敷地内に祀られたと伝わり、神殿は貴人姿の4体の坐像人形が神像として鎮座。脳の健康、学問にご利益があるとされ、呆け防止を祈願する方も多そうです。毎年10月14日、15日のお祭りでは、14日に地区の辻に灯籠を灯して神様を迎える『夜渡祭り』、15日に地区の住民で食事をする『直会（なほらい）』が行われます。



東黒川地区の氏神さまです。お祭りや毎月1日に行う清掃活動を通じて、地域の絆も強いです。10月14日の夜渡祭りでは灯籠の明かりが美しいですよ。

阿蘇市黒川 263
（アクセス 道の駅阿蘇から車で5分）
駐車場 なし

加玖羅社総代
市原徹之さん

⑤ 国造神社
サテライト 46



健甕龍命の第1子である速瓶玉命（ハヤミカタマノミコト）をはじめ、4神を祀る古社。境内には鯨社があり、阿蘇カルデラが湖だった時代を背景とする鯨崇拝の伝説が残ります。夏の御田祭りなど、古代より続く農耕祭事は全国的に見ても貴重で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。境内奥には速瓶玉命のお手植えとされる樹齢約2000年の大杉の一部があり、平成3年の台風で倒れるまで、高さ約60m、幹囲12mを誇っていたというその大きさを間近で拝観できます。



阿蘇神社の北側に位置しているので「北宮」とも呼ばれています。阿蘇神社と同様の農耕祭事を行い、地域の信仰に根付いた古い歴史があります。

阿蘇市一の宮町手野 2110
（アクセス 道の駅阿蘇から車で15分）
駐車場 あり

国造神社司宮
宮川経幸さん

⑥ 霜宮
サテライト 39



国の重要無形民俗文化財に指定される「火焚き神事」で有名。その昔、健甕龍命が的石に向かって射った100本目の矢を蹴り返してしまったことで、命の逆鱗にふれた鬼八法師。命に追われて斬られた際「阿蘇に霜を降らせる」と告げた神話に基づき、59日間をかけて鬼八の霊を慰め、阿蘇に霜の害が起きないように祈願します。毎年、地域から10才前後の女子一人が「火焚き乙女」として選ばれ、火焚き殿で時をくべ、火を灯し続ける伝統の神事です。

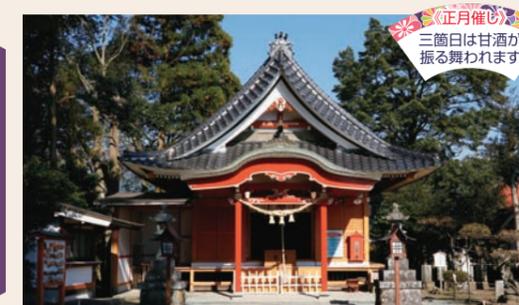


「火焚き神事」は昔からずっと続いている伝統の神事です。上役犬原、下役犬原、竹原の地区が持ち回りで役を務め、地域みんなで協力合っています。

阿蘇市役犬原
（アクセス 道の駅阿蘇から車で10分）
駐車場 あり

霜宮総代
森下今朝年さん

⑦ 内牧菅原神社
サテライト 30



（正月催し）
三箇日は甘酒が振る舞われます

大宰府天満宮に鎮座する学業の神様として有名な菅原道真公を祭神として祀ります。内牧の守護神としてかつての内牧城に勧請され、慶長元年（1596年）にこの地に社殿を移築。境内には全国の菅原神社で見られる太宰府天満宮の御神梅（飛梅）も拝むことができます。境内には樹齢500年の願掛けのタブの木や、阿蘇打越神社という家畜・牛馬の神様も祀られています。10月の第2日曜を例祭日とし、お神輿行列などが賑やかに行われます。



学業の神様として地域内外の方が参拝に来られます。神殿には約300年前の作という木造り御神体の人形を重宝し、その貴重なお姿を今後公開の予定です。

阿蘇市内牧 416
（アクセス 道の駅阿蘇から車で10分）
駐車場 あり

内牧菅原神社司宮
前田政喜さん

阿蘇の冬の名物

⑧ 古閑の滝
サテライト53



高さ80mの男滝、100mの女滝からなり、気温が氷点下5度を下回る頃、普段の細い滝の姿は一変して豪壮な氷瀑となります。出現の目安は12月中旬から2月。1月から2月の土曜日は、18時から20時まで滝のライトアップも行われます。また、同時期の土日は歩道の途中に小さな飲食店（露店）も開店。コーヒーや甘酒、だご汁といった温かい飲み物、軽食が販売されます。近くをJR豊肥本線が走り、電車の撮影スポットとしても鉄道ファンに人気です。



氷瀑が溶け、崩れるときに響く轟音は、地域に春の訪れを告げる音となっています。冬以外も、マイナスイオンが溢れていますので、ぜひお立ち寄りください。

阿蘇市一の宮町坂梨
（アクセス 道の駅阿蘇から車で30分）
駐車場 あり

古閑の滝観光組合組長
中村平八郎さん